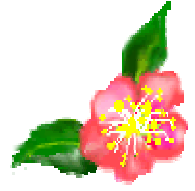


船橋 YMCA 通信



No.45 2008年11月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



チャリティーラン開催

千葉YMCAチャリティーランは、30チームが参加し、10月18日(土)に夏見台にある船橋市運動公園の特設コースで開催されました。

今年の大会からオフィシャルスポンサーが三菱商事になり、大きな黄色のアーチが陸上競技場入り口に架けられました。



《アーチがあると会場が華やかになります》

今回の参加チーム数は昨年より2チーム減りましたが、昨年は参加できなかった千葉県立船橋旭高校の吹奏楽部のみなさん(下の写真の左上の観客席)が応援に駆けつけてくれました。



《開会式で挨拶をする長尾大会実行委員長》

千葉YMCAチャリティーランも第11回を数え、車いすの参加チームも3チームになりました。



《駅伝のスタートです》

チャリティーランは、1チーム6人でたすきリレーをする駅伝です。コースは、陸上競技場とその周辺道路を走るクロスカントリーの1.6kmのコースと競技場の400mトラックを1人で2周走るコースの2種類があります。



《一斉にスタートしました》

チャリティーランには、参加費3万円を払って自分達でチームを組んで参加する自走タイプと参加費は他の企業や団体が払ってくれて自分達はボランティアで走る代走タイプの2つの参加方法があります。今回の大会では、参加30チームのなかで自走タイプは11チームでした。

表彰は、走る速さを競うタイムトライアル部門と宣言タイムに対する誤差の少なさを競う宣言タ

イム部門の二つがあります。さらに、特によくがんばったチームには特別賞もあります。



《最終ランナーがチームの皆と一緒にゴールへ》
チャリティーランの益金は、Y M C Aの障がい児プログラムに使われる外に船橋市内の障がい者施設にも寄贈されます。チャリティーラン当日には、近郊の障がい者作業所の皆さんが製品を販売する福祉の店が競技場の外に開かれました。このお店の売上は全て各々の作業所の売上になります。



《パンやお菓子、野菜やアケサリ-等色々あります》
さらに隣の野球場の周辺では、日本エコフリマ推進会による協賛フリーマーケットも開かれ、出店者の皆さんから1店舗につき500円の協賛金をいただいています。



《フリーマーケットも賑わっています》



《閉会式の後で、全員の集合写真》

今回の結果は、タイムトライアル賞は船橋市立船橋中学校Bチーム、宣言タイム賞は船橋市障害者友の会チーム、特別賞はみんなのいえチャオトロチームとテラにここにランナースチームと空と海Bチームでした。特別賞は、障がいを持った人のチームや小学生のチームでがんばったチームに贈られました。

駅伝に参加された方々、ボランティアとして大会を支えてくださった方々に感謝します。

船橋Y M C A活動記録

船橋Y M C Aの9月、10月の活動記録です。

- ・9月13日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品：2008年 夏の思い出を 額にして残そう！！
参加人数：5名
- ・9月16日(火) 船橋地域デポ運営委員会
- ・9月20日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・9月21日(日) わんぱくクラブ9月例会
内容：柴又見学
参加人数：7名
- ・10月11日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・10月18日(土) 第11回チャリティーラン
- ・10月18日(土) わんぱくクラブ10月例会
内容：チャリティーラン参加
参加人数：6名

編集後記

本号では、チャリティーランの様子を時系列で紹介して見ました。11回を数えるチャリティーランは、千葉Y M C Aの行事として定着しましたが、千葉県全体を巻き込む運動にはなっていないので、これがこれからの課題です。 (横)